

表1. 徳島県立中央病院キャリアラダー段階別到達目標

教育目的：看護局の理念に沿って人として成長し、看護専門職として患者のニーズに沿った質の高い看護サービスを提供できる人材を育成する

目安	レベルⅠ（1年目）	レベルⅡ	レベルⅢ	レベルⅣ	レベルⅤ
定義	<p>新人レベル</p> <p>基本的な看護手順に従い必要に応じ助言をつけて看護を実践する</p>	<p>プリセプターレベル</p> <p>標準的な看護計画に基づき自立して看護を実践する</p>	<p>ケアの受け手に合う個別的な看護を実践する</p> <p>リーダーシップを発揮し、後輩や学生の指導ができる</p>	<p>幅広い視野で予測的判断を持った看護を実践する</p> <p>熟練した看護を実践しチーム医療を推進する</p>	<p>副師長レベル</p> <p>より複雑な状況において、ケアの受け手にとって最適な手段を選択し、QOLを高めるための看護を実践する</p> <p>チーム医療を推進するために、創造的にリーダーシップを発揮する</p>
到達目標	<p>①基本的な知識・技術・態度を習得し、助言・指導を受けながら正確で安全な看護実践ができる</p>	<p>①受け持ち患者の個性性を踏まえた看護問題が解決でき、適切な看護実践ができる</p> <p>②プリセプターとしての役割を果たせる</p>	<p>①日常の業務が円滑に進むようにリーダーシップを発揮できる</p> <p>②看護過程をふまえた個別的ケアが実践できる</p> <p>③後輩や学生に対して指導的に関わる事ができる</p>	<p>①個性性を重視し熟練した看護サービスの提供ができる</p> <p>②多職種連携の必要性を見極め、主体的に多職種と協力し合うことができる</p>	<p>①より複雑な状況において、ケアの受け手にとって最適な手段を選択し、QOLを高めるための看護を実践できる</p> <p>②医療チームメンバーの中で調整的役割をとり、師長を補佐することができる</p>
看護サービスの実践能力	<p>①助言を受けながらケアの受け手に必要な身体的、精神的、社会的、スピリチュアルな側面から必要な情報収集ができる</p> <p>②ケアの受け手の状況から緊急度をとらえることができる</p> <p>③助言を受けながら看護手順に沿ったケアが実施できる</p> <p>④助言を受けながら、ケアの受け手に基本的援助ができる</p> <p>⑤看護手順やマニュアルに沿って、基本的看護技術を用いて看護援助ができる</p>	<p>①自立してケアの受け手に必要な身体的、精神的、社会的、スピリチュアルな側面から必要な情報収集ができる</p> <p>②得られた情報をもとに、ケアの受け手の全体像としての課題をとらえることができる</p> <p>③ケアの受け手の個性性を考慮しつつ標準的な看護計画に基づきケアを実践できる</p> <p>④ケアの受け手の状況に応じた援助ができる</p>	<p>①ケアの受け手に必要な身体的、精神的、社会的、スピリチュアルな側面から必要な情報収集ができる</p> <p>②得られた情報から優先度の高いニーズをとらえることができる</p> <p>③ケアの受け手の個性性に合わせて、適切なケアを実践できる</p> <p>④ケアの受け手の個性性をとらえ、看護実践に反映ができる</p> <p>⑤ケアの受け手や周囲の人々の意志決定に必要な情報提供や場の設定ができる</p>	<p>①予測的な状況判断のもと身体的、精神的、社会的、スピリチュアルな側面から必要な情報収集ができる</p> <p>②意図的に収集した情報を統合し、ニーズをとらえることができる</p> <p>③ケアの受け手の顕在的・潜在的なニーズに応えるため、幅広い選択肢の中から適切なケアを実践できる</p> <p>④幅広い視野でケアの受け手をとらえ、起こりうる課題や問題に対して予測的および予防的に看護実践ができる</p> <p>⑤ケアの受け手や周囲の人々の意志決定プロセスに看護職の立場で参加し、適切な看護ケアを実践できる</p>	<p>①複雑な状況を把握し、ケアの受け手を取り巻く多様な状況やニーズの情報収集ができる</p> <p>②ケアの受け手や周囲の人々の価値観に応じた判断ができる</p> <p>③ケアの受け手の複雑なニーズに対応するためあらゆる知見（看護および看護以外の分野）を動員し、ケアを実践・評価・追求できる</p> <p>④適切な資源を積極的に活用し、ケアの受け手や周囲の人々の意志決定プロセスを支援できる</p> <p>⑤法的および文化的配慮など多方面からケアの受け手や周囲の人々を擁護した意志決定プロセスを支援できる</p>
マネジメント能力	<p>①看護局や病棟目標の達成に向けた活動に参加できる</p> <p>②受け持ち看護師の役割を理解しチームメンバーとして行動できる</p> <p>③師長、先輩看護師に報告、連絡、相談ができる</p> <p>④ケアに応じた物品が使用できる</p> <p>⑤物品の整備と補充ができる</p> <p>⑥時間管理ができる</p> <p>⑦医療事故にかかわるインシデント・アクシデントについて報告できる</p> <p>⑧院内感染防止マニュアルに沿って指導を受けながら行動できる</p> <p>⑨災害発生時の対応を理解している</p>	<p>①看護局や病棟目標の達成に向けて行動できる</p> <p>②受け持ち看護師として自立した行動がとれメンバーシップが発揮できる</p> <p>③チーム内に報告、連絡、相談ができる</p> <p>④経済性を考慮し、ケアに応じた物品の準備ができる</p> <p>⑤物品の整備と補充ができる</p> <p>⑥医療事故にかかわるインシデント・アクシデントについて報告対応できる</p> <p>⑦院内感染防止マニュアルに沿って実践できる</p> <p>⑧災害発生時、指示に従い行動できる</p>	<p>①病棟目標を提案し、目標達成のための行動がとれる</p> <p>②リーダーの役割を認識し、リーダーシップを発揮することができる</p> <p>③チームメンバーや他チームと情報交換することができる、他部門との連携・調整ができる</p> <p>④経済性を考慮し、ケアに応じた物品の準備ができ、管理ができる</p> <p>⑤毎日の業務から起こり得る事故を知り、防止対策を実践できる</p> <p>⑥災害発生時の対応ができる</p>	<p>①病棟目標を提案し、目標達成のための行動が計画的に実践できる</p> <p>②現状を見極め業務改善を推進できる</p> <p>③委員会活動や専門的活動に参加し看護に貢献できる</p> <p>④物品の定数や使用状況を把握し管理的視点で考えることができる</p> <p>⑤医療安全推進のための活動ができる</p> <p>⑥院内感染防止対策推進のための活動ができる</p> <p>⑦緊急時・災害時にリーダーシップを発揮できる</p>	<p>①行動目標を提案し、目標達成のための行動が計画的に実践できるよう指導できる</p> <p>②委譲された範囲内で管理業務ができる</p> <p>③看護師長の補佐ができる</p> <p>④5S活動を推進し、良好な状態が維持できるよう指導できる</p> <p>⑤医療安全推進のための活動を推進できる</p> <p>⑥災害時の対応方法が指導できる</p> <p>⑦盗難や事件発生時の対応ができる</p>
人間関係能力	<p>①助言を受けながらケアの受け手を看護していくために必要な情報が何かを考え、その情報を関係者と共有することができる</p> <p>②助言を受けながらチームの一員としての役割を理解できる</p> <p>③接遇の5原則を実践できる</p> <p>④患者・家族に関心を持ち寄り添うことができる</p>	<p>①ケアの受け手を取り巻く関係者の立場や役割の違いを理解したうえで、それぞれと積極的に情報交換ができる</p> <p>②関係者と密にコミュニケーションをとることができる</p> <p>③ケアの受け手の価値観や思いを反映したケアを計画・実施する重要性を理解し、実践できる</p>	<p>①ケアの受け手の個別的なニーズに対応するために、その関係者と協力し合いながら多職種連携を進めていくことができる</p> <p>②ケアの受け手とケアについて意見交換ができる</p> <p>③積極的に多職種に働きかけ、協力を求めることができる</p>	<p>①患者、家族に必要な社会資源を提供するために各部門と調整できる</p> <p>②ケアの受け手がおかれている状況（場）を広くとらえ、結果を予測しながら多職種連携の必要性を見極め、主体的に多職種と協力し合うことができる</p> <p>③多職種間の連携が機能するように調整できる</p> <p>④多職種の活力を維持・向上させる関わりができる</p>	<p>①複雑な状況（場）の中で見えにくくなっているケアの受け手のニーズに適切に対応するために、自律的な判断のもと関係者に積極的に働きかけができる</p> <p>②多職種連携が十分に機能するよう、その調整的役割を担うことができる</p> <p>③関係者、多職種間の中心的役割を担うことができる</p> <p>④目標に向かって多職種の活力を引き出すことができる</p>
教育研究能力	<p>①不明な点や未習熟の技術を明らかにし、自己の学習目標を設定し取り組むことができる</p> <p>②部署、院内で行われる研修会に積極的に参加できる</p> <p>③看護実践をとおして簡単な症例をまとめることができる</p> <p>④研究発表会に参加できる</p> <p>⑤社会人、職業人としての常識的な行動がとれる</p>	<p>①プリセプターの役割を担うことができる</p> <p>②院内・外への研修にも積極的に参加し、自己研鑽に努める</p> <p>③日常業務に関心を持ち、看護研究に参加できる</p> <p>④参加した研修会等の内容をチーム内に伝達することができる</p> <p>⑤専門知識・技術を同僚と共有し活用することができる</p>	<p>①教育、指導について学びを深め、現場に活かすことができる</p> <p>②学生、後輩指導ができる</p> <p>③将来の希望を踏まえキャリアアップを考案することができる</p> <p>④研究の基本的な知識を得て研究に取り組み、看護実践を振り返ることができる</p> <p>⑤主となって看護研究に取り組める</p>	<p>①部署の教育プログラムの運営に関わることができる</p> <p>②自己キャリアの開発に向けて計画的・意図的に取り組むことができる</p> <p>③学びを元に部署の課題を業務改善につなげることができる</p> <p>④院内・外への研修に計画的に参加できる</p>	<p>①自己のキャリア目標を見定め主体的に取り組むことができる</p> <p>②OJTの中で実践的なリーダーの育成ができる</p> <p>③部署メンバーの成長を支援できる</p> <p>④看護研究を指導し推進できる</p>